

保証とアフターサービス 必ずお読みください

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝生活家電ご相談センター

フリーダイヤル **0120-1048-76**

受付時間：365日 9:00～20:00
 携帯電話・PHSなど 022-774-5402 (通話料：有料)
 FAX 022-224-6801 (通信料：有料)

- お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

保証書 (別添)

- この東芝クリーナーには、保証書を別途添付しております。
- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証期間は**お買い上げの日から1年間**です。詳しくは保証書をご覧ください。

補修用性能部品の保有期間

- クリーナーの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後6年です。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

- 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社で引き取らせていただきます。
- 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
- 部品共用化のため、一部予告なしに仕様や外観色を変更することがあります。

修理を依頼されるときは 持込修理

15ページに従って調べていただき、なお異常があるときは、電源を切り使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は.....
 保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。
 なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

■修理料金のしくみ.....
 修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

便利メモ	お買い上げ日	年	月	日
	お買い上げ店名	電話 ()	-	

長年ご使用のクリーナーの点検をぜひ！

愛情点検

このような症状はありませんか。

- スイッチを入れても、ときどき運転しない時がある。
- 電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- 運転中に異常な音がある。
- 運転中ときどき止まる。
- 本体が変形したり異常に熱い。
- ホースが破れている。
- こげくさい“におい”がする。
- その他の異常・故障がある。

ご使用中 止

故障や事故防止のため、使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。

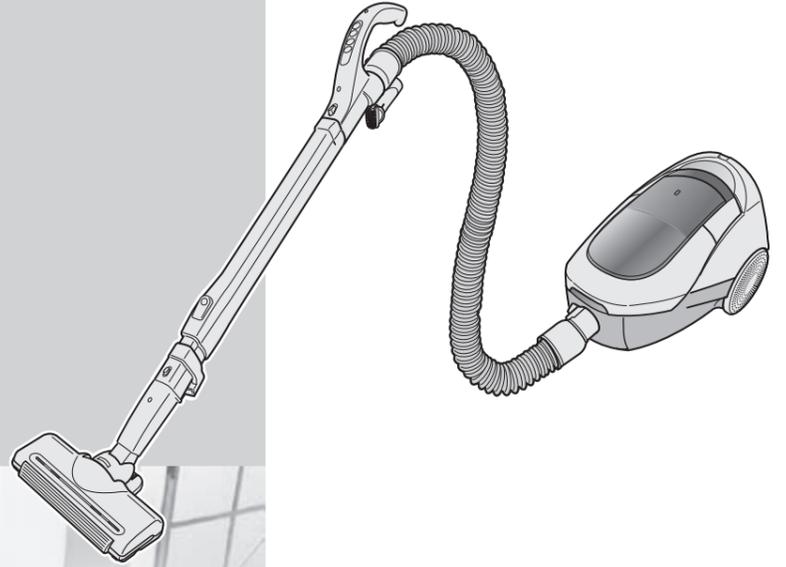
東芝ホームアプライアンス株式会社
 リビング機器事業部
 〒101-0021 東京都千代田区外神田2-2-15 (東芝昌平ビル)

TOSHIBA
 Leading Innovation >>>

東芝クリーナー (家庭用)

取扱説明書

形名
VC-CY9D



- このたびは東芝クリーナーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解してください。
- お読みになったあとは、お使いになるかたがいつでも見られるところに必ず保管してください。
- 保証書を必ずお受け取りください。
- 包装に使用しているダンボールは、分別の上、リサイクルにご協力をお願いします。

もくじ

安全上のご注意 2～3	お掃除の前に
お願い..... 4	
各部のなまえ..... 4～5	
お掃除のしかた 6～7	お掃除のしかた
付属品の使いかた..... 8	
お掃除のコツ..... 9	
ゴミの捨てかた 10	お掃除の後に
お手入れする..... 11～13	
本体・床ブラシの回転部が止まったら 14	このメンテナンスは
抗菌の効果..... 14	
仕様..... 14	
お困りのときは..... 15	
保証とアフターサービス 16	

日本国内専用
 Use only in Japan

安全上のご注意

必ずお守りください

●商品および取扱説明書にはお使いになるかたや他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示の説明

警告 「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷*¹を負うことが想定されること」を示します。

注意 「取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷*²を負うことが想定されるか、または物的損害*³の発生が想定されること」を示します。

- * 1：重傷とは、失明、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
- * 2：軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
- * 3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

警告

火災・感電を防ぐために

- 異常・故障時には直ちに使用を中止する**
- スイッチを入れても、ときどき運転しない時がある。
 - 電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
 - 運転中ときどき止まる。
 - 運転中に異常な音がする。
 - 本体が変形したり異常に熱い。
 - ホースが破れている。
 - こげくさい“におい”がする。
- （発煙・発火・感電の恐れあり）
すぐに「切」スイッチを押し、電源プラグを抜いて、販売店へ点検・修理を依頼してください。

電源・電源プラグ・電源コードは正しく使う

- 電源は交流100V 定格15A以上のコンセントを単独で使う
・火災・感電の原因。
- 電源プラグとコンセントのほこりなどはプラグを抜き、定期的に乾いた布で拭き取る
・感電・発熱による火災の原因。
- 電源プラグは根元まで確実に差し込む
・感電・発熱による火災の原因。
- ゴミ捨て時やお手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く
・感電・けがの原因。

- 電源コード・電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない
・感電・ショート・発火の原因。
- 電源コードは黄マーク以上引き出さない
- 電源コードを傷つけない、無理に曲げない、引っ張らない、ねじらない、たばねない、加工しない、重い物をのせない、挟み込まない
・電源コードの損傷による、火災・感電の原因。
- 電源コードを床ブラシの回転部に巻き込まない
・電源コードの損傷による、火災・感電の原因。
- 電源プラグはぬれた手で抜き差ししない
・感電・けがの原因。

- 水まわりや風呂場では絶対に使わない
・感電の原因。

本体・ホース・伸縮延長管・床ブラシ（回転部・お手入れカバーを除く）は絶対に水洗いしない
・感電・故障の原因。

- 灯油、ガソリン、シンナーなどの引火性のあるもの、タバコの吸い殻などの火の気のあるもの、トナーなどの可燃物を吸わせない
・火災の原因。

- 絶対に改造はしない
また、修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない
・火災・感電・けがの原因。修理はお買い上げの販売店または、東芝生活家電ご相談センターにご相談を。

図記号の説明

○は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

△は、注意を示します。具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

警告

けが・やけどを防ぐために

- ふたが開いているときは、ふたを持って本体を持ち上げない
・本体の変形・けがの原因。

- 床ブラシ・床ブラシの回転部・自動停止装置など底面や、本体の排気口付近には触れない
・手など、けが・やけどの原因。
・特に小さなお子さまにご注意ください。

注意

火災・感電・ショートを防ぐために

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って抜く
・プラグの刃の変形、電源コードの断線による感電、ショート・過熱による発火の原因。
- 電源コードは、まっすぐ引き出す
・電源コードを上引っ張りながら引き出すと本体の引き出し部とのこすれにより、電源コードが損傷します。
・感電・発火の原因。
- クリーナーを使わないときは、電源プラグをコンセントから抜く
・けが・やけど・絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。

- 吸込口をふさいで長時間運転しない
・過熱による本体の変形・発火の原因。
- 引火性のもの（ガソリン、ベンジン、シンナー）の近くで使わない
・爆発・火災の原因。
- 排気口をふさがない
・火災の原因。
- 本体にあるホース差込口、ホース、伸縮延長管の接点にピンや金属類などを入れない
・感電・破壊の原因。
- 破れや傷のあるホースは使わない
・感電の原因。
- 火気に近づけない
・本体や電源コードなどの変形によるショート・発火の原因。

- ダストカップ・プレーツフィルタは正しく取り付ける
ダストカップのネットやプレーツフィルタが破れたり、古くなったときは交換する
・モーターの発煙・発火・故障の原因。

けが・破損を防ぐために

- 電源コードを巻き取るときは、電源プラグを持って行う
・電源プラグがあたるけがの原因。

- ホースを持って本体を持ち上げない
・本体・ホースの破損、本体落下による床の傷つきの原因。
- 本体に乗らない
・本体・ホースの破損、けがの原因。
・特に小さなお子さまにご注意ください。

お掃除の前

お掃除のしかた

1 電源コードをまっすぐ引き出し
電源プラグをコンセントに差し込む

2 **強/弱** または **エコ自動** を押す (お掃除開始)

普通のお掃除をするとき

押すごとに「強←→弱」が切り替わる

- 「強」** ●じゅうたんなど強い吸込力が必要なとき
「弱」 ●静かに掃除したいとき
●カーテンなどが吸い付いて操作がしにくいとき
●すき間ノズル (ブラシ) を使うとき

ゴミのたまり具合に適した吸込力で掃除するとき
移動時などのムダな消費電力を抑えて掃除したいとき

床ブラシの回転部の回転を「入/切」するとき

- 「強/弱」、「エコ自動」のどちらでも使えます。

押すごとに「入←→切」が切り替わる

- 「入」** ●ゴミが取りにくいとき
「切」 ●床・たたみで静かに掃除したいとき
※エコ自動がはたらかなくなります。

お知らせ

- お掃除中に大きなゴミなどが急激に吸い付いた場合、操作を軽くするために吸込力を弱めます。また、吸い付いたまま約3分間使うと、モーターの加熱を防ぐために運転が止まります。このようなときは、ゴミを取り除き手元スイッチを押してください。再びお使いになれます。
- 一度に多くの家電製品をお使いになるなどして電源電圧が低いときは、吸込力が弱くなることがありますが故障ではありません。

3 **切** を押す

運転を止めるとき

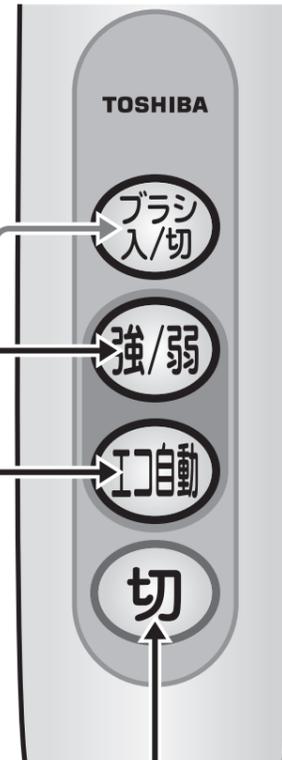
※電源プラグがコンセントに差し込まれていると「切」のときでも約2Wの電力を消費します。

4 お掃除が終わったら
電源プラグをコンセントから抜く

- 電源プラグを持ちながら、ハンドル兼用電源コード巻取りボタンを押して電源コードを巻き取る。巻き取れないときは、1～2m引き出して、再度巻き取る。
- 運転停止後は電源プラグが熱くなっていることがありますのでご注意ください。



手元スイッチ



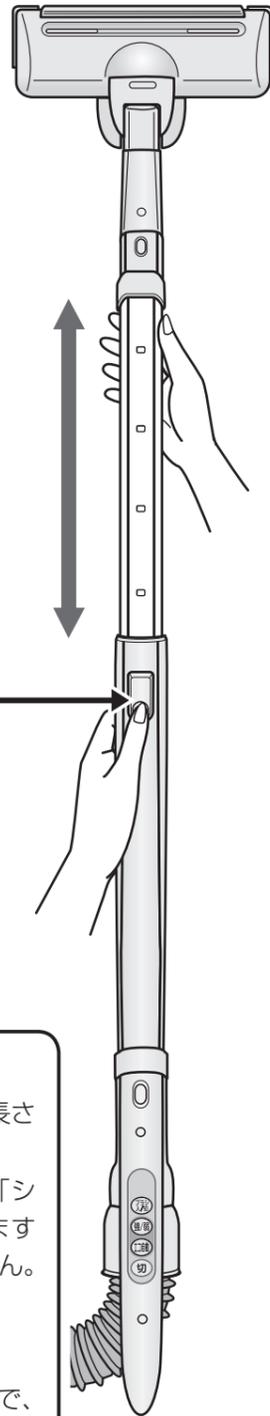
調節ボタン

調節ボタンを押しながら長さを調節してください。

- 長さ調節時や使用時に「シヤカシヤカ」と音がしますが、故障ではありません。(内部部品の振動音)

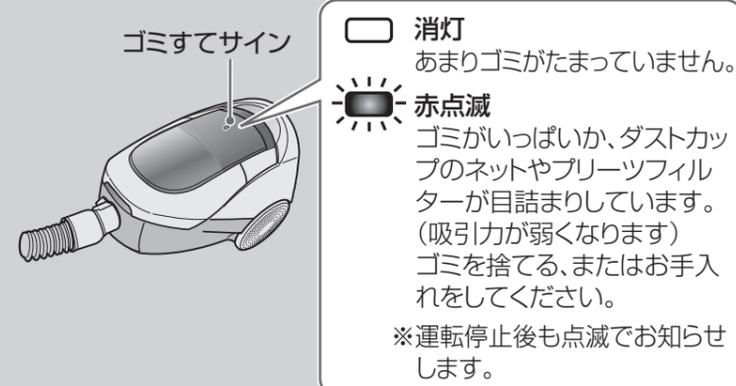
お願い

運転中に吸込口をふさいで、調節ボタンを押さないでください。急に縮み、けがをすることがあります。



ゴミすてサイン

ゴミを捨てる時期 (目安) をゴミすてサインが点滅してお知らせします。



- 消灯** あまりゴミがたまっていません。
- 赤点滅** ゴミがいっぱいか、ダストカップのネットやブリーツフィルターが目詰まりしています。(吸引力が弱くなります) ゴミを捨てる、またはお手入れをしてください。
※運転停止後も点滅でお知らせします。

お願い

- 吸込力を持続させるために、こまめにゴミを捨て、定期的にダストカップのネットやブリーツフィルターを点検してください。
- 定格15A以上のコンセントを単独でお使いください。延長コードを使ったり、他の家電製品と同じコンセントでお使いになると電源電圧が下がり、ゴミすてサインが早く点滅することがあります。

お知らせ

- ゴミすてサインが点滅したまま使うと、モーターの保護のため自動的に吸込力が弱くなります。
- 綿ゴミなど風を通しやすいゴミは、ダストカップにいっぱいになっても点滅しないことがあります。
- ダストカップのネットやブリーツフィルターが目詰まりしやすい砂ゴミ、土ぼこりなどの粉ゴミや誤って吸い込んだ湿ったゴミは、ダストカップにいっぱいにならないうちに目詰まりし点滅することがあります。
- ゴミを捨ててもゴミすてサインが消えない場合は、風路内、ダストカップのネット、ブリーツフィルター等をお手入れしてください。お手入れの頻度はゴミの種類や使う頻度により異なります。(→10～13ページ)

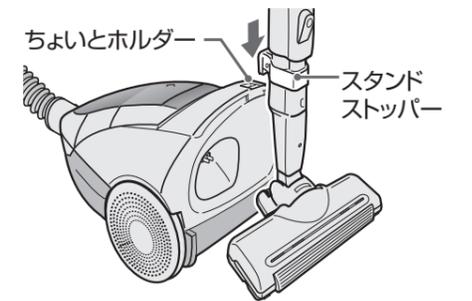
ちょっとスタンド

「お掃除、ちょっと中断したい!」そんなときに使ってください。

本体を押さえ、スタンドストッパーをちょっとホルダーに合わせて真上から奥まで確実に差し込む。

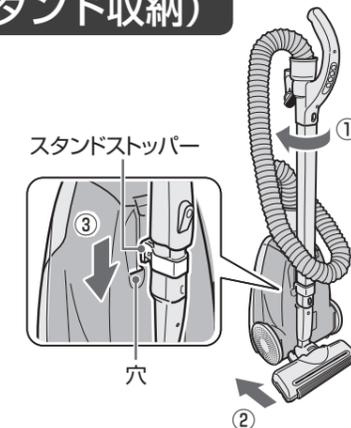
お願い

- ちょっとスタンドを使うときは、運転を止めてください。
- ちょっとスタンド状態で持ち運んだり、ふたを開けないでください。倒れることがあります。
- 長時間放置する場合は、スタンド収納の状態にしてください。



本体の収納のしかた (スタンド収納)

- ①伸縮延長管を縮めて一回転させ、ホースを巻き付ける
- ②床ブラシを滑らせながら本体側に引く
- ③スタンドストッパーを本体の穴に差し込む



ホースの握り部をはずすとより低くなります。



お願い

- 収納状態で持ち運ばないでください。スタンドストッパーがはずれることがあります。
- 標準付属品の床ブラシを取り付けて、収納してください。それ以外 (別売品など) で収納状態にすると、スタンドストッパーがはずれることがあります。

付属品の使いかた



警告

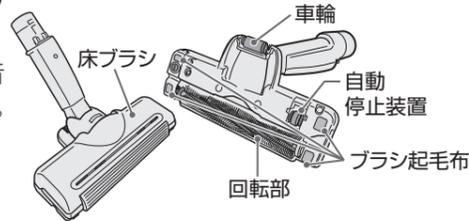


床ブラシ・床ブラシの回転部・自動停止装置など底面や、本体の排気口付近には触れない
 ・手など、けが・やけどの原因。
 ・特に小さなお子さまにご注意ください。

床ブラシ (回転部)

自動停止装置がついています。床ブラシを床面に置くと回転部が回転し、床面から浮かすと、安全のため回転部が止まります。

- 床ブラシは床面にゆっくりと下ろして使います。落とすように使うと、自動停止装置が働き、回転部の回転が止まることがあります。
- じゅうたんの種類によっては、回転部の回転が止まることがあります。(ホットカーペット・毛足の長いもの・毛の密度の高いもの) このようなときは **弱** を押し、運転を止め、再び **強** を押ししてください。
- 床ブラシを振ると、「カラン」と音がしますが、故障ではありません。(自動停止装置の作動音)



お願い

- 表面が固く、凹凸のあるコンクリート床などで使わないでください。床ブラシ裏側の車輪・ブラシ起毛布が摩耗して、床・たたみ・じゅうたんに傷をつけることがあります。
- お掃除前に、車輪・床ブラシ起毛布が摩耗していないか、点検してください。摩耗しているときは床ブラシを使わないで、お買い上げの販売店を通じて新しいもの(有料)と交換してください。
- 床ブラシを家具や壁にぶつかけたり、手元部を下方に無理に押しつけたりしないでください。(破損の原因)

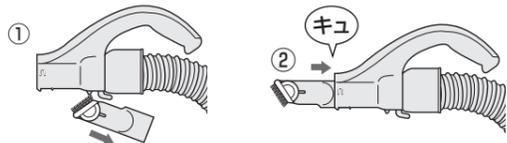
すき間ノズル (ブラシ)

通常は、**強/弱** を2回押し、「弱」で使う

※強い吸込力で掃除するときは、**強/弱** を1回押し、「強」でお使いください。

セットするときは

- ①すき間ノズル(ブラシ)を矢印の方向へスライドさせてはせず
- ②ホース、または伸縮延長管の先端にしっかりねじ込む

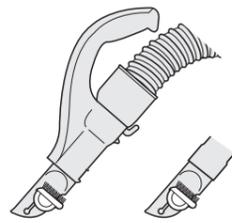


お知らせ

- すき間ノズル(ブラシ)は、ホースの手元スイッチの下部に収納できます。
- 伸縮延長管の先にもセットして使用できます。

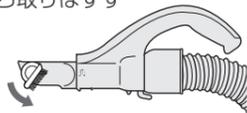
すき間ノズルとして使う

ブラシを収納して使います。

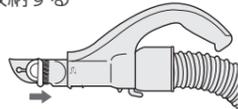


ブラシ収納方法

①ブラシを回転させ、吸口から取りはずす



②ブラシをスライドさせ、収納する

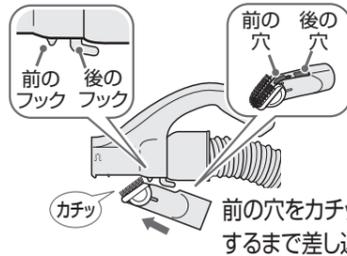


お知らせ

- 収納状態でもすき間ノズル(ブラシ)は衝撃によりはずれることがあります。
- 「強」で使うと、保護装置がはたらくことがあります。また、急激にホースが縮むことがあります。

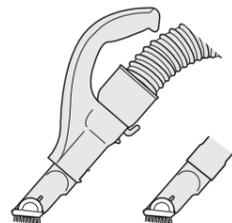
収納するときは

すき間ブラシの状態ですり方向にスライドさせ、前と後ろの穴を手元スイッチの裏側のフックに差し込む



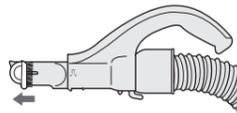
すき間ブラシとして使う

ブラシを吸口側にスライドして使います。

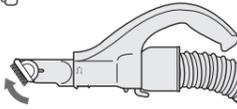


ブラシ取り付け方法

①ブラシを吸口にスライドさせる



②ブラシを回転させ、吸口に差し込む



お願い

- 床などに使わないでください。傷をつけることがあります。
- 20分以上続けて使わないでください。モーターに負担がかかります。
- すき間ノズル(ブラシ)をフックから無理にはずさないでください。フックが変形して収納できなくなります。

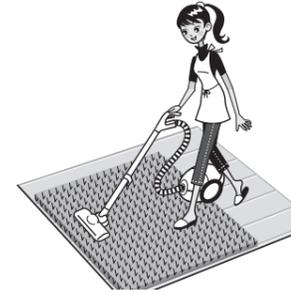
お掃除のコツ

大きめの紙片や包装用フィルムなどは、お掃除の前にあらかじめ拾っておきましょう。ホース・伸縮延長管・床ブラシの風路に詰まる場合があります。

じゅうたんのお掃除

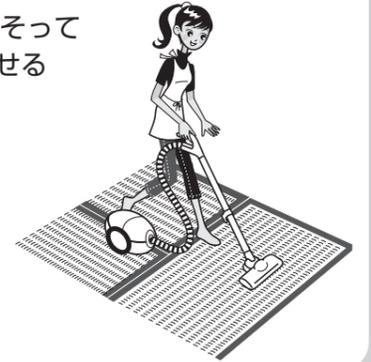
毛足の長いじゅうたんは「強」で、吸込力が強く操作が重いときは「弱」で使う

新しいじゅうたんは、ダストカップが遊び毛でいっぱいになりますが、使っている内に遊び毛は徐々に少なくなります。



たたみ、床のお掃除

たたみ目、板目にそって片手で軽くすべらせる(傷つき防止)



壁際や狭いところのお掃除

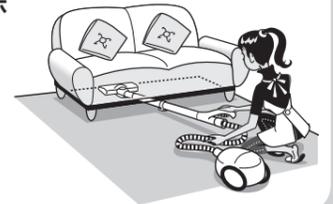
手元をひねり床ブラシの向きを変える



低いところのお掃除

手元を下げる

より奥まで掃除するときは手元をひねる



お願い

- 狭いところや低いところのお掃除をするときは、スタンドストッパーが床面、家具などに当たらないよう注意してください。

プリーツフィルターにティッシュペーパーを取り付けると、プリーツフィルターへの繊維ゴミやちりの付着が減り、お手入れを軽減できます。

ティッシュペーパーの取り付けかた

①ダストカップからプリーツフィルターを取りはずす



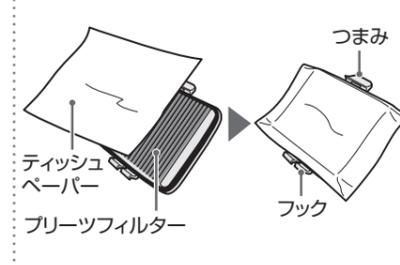
お知らせ

- ティッシュペーパーを取り付けると通常より早くゴミすてサインが点滅します。ゴミすてサインが点滅したらダストカップの中のゴミを捨て、ティッシュペーパーを新しいものに交換してください。(→7,10ページ) それでもゴミすてサインが消えないときはプリーツフィルターのお手入れをしてください。(→11ページ)

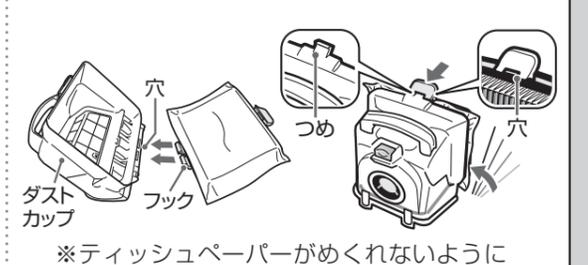
お願い

- ぬれたティッシュペーパー・使用済みのティッシュペーパーは使わないでください。(故障の原因)

②プリーツフィルターのフックとつまみが見えるようにティッシュペーパーをのせる



③プリーツフィルターのフックをダストカップの穴に引っかけてから、ダストカップのつめをプリーツフィルターのつまみの穴にはめ込む

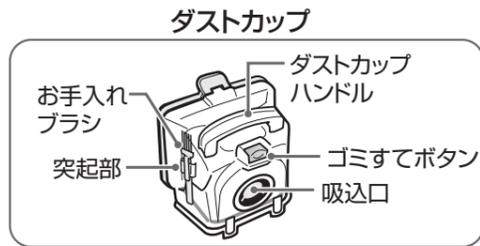


※ティッシュペーパーがめくれないように取り付けてください。

お掃除のしかた

ゴミの捨てかた

お掃除が終わったらこまめにゴミを捨てましょう
ゴミがたまってくると吸込力が低下します。

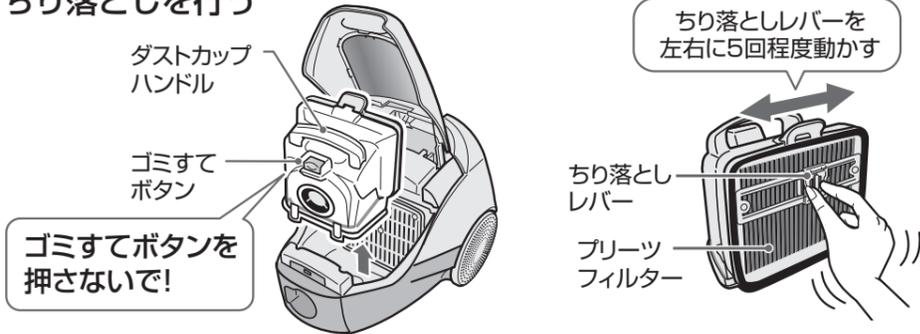


お願い

- ゴミの種類により少量のゴミでも吸込力が弱くなる場合があります。このようなときは、ダストカップのゴミを捨て、ネットのゴミを取り除き、ブリーツフィルターのお手入れをしてください。

ゴミを捨てる前には、**切** を押し、電源プラグをコンセントから抜き、ホースをはずしてください。

1 ふたを開け、ダストカップを取り出し、ブリーツフィルターのちり落としを行う

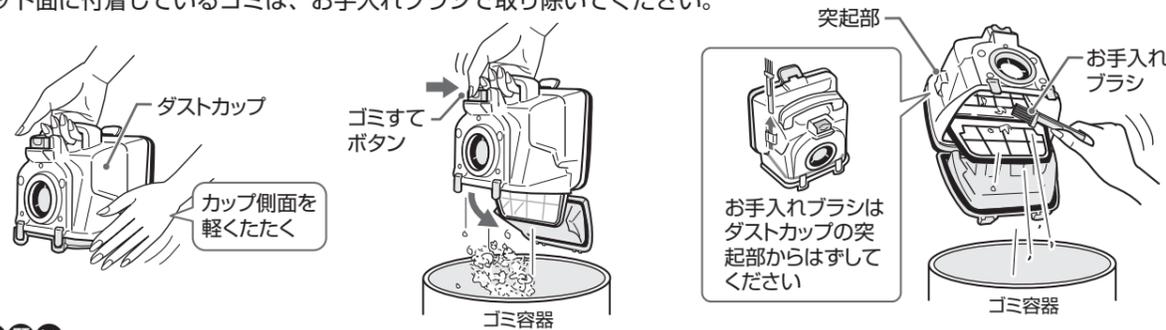


お願い

- 本体からダストカップを取り出すとき、ゴミすてボタンを押さないでください。ゴミがこぼれます。

2 ダストカップを大きめの紙袋（ポリ袋）や、ゴミ容器の中に入れ、ゴミすてボタンを押す

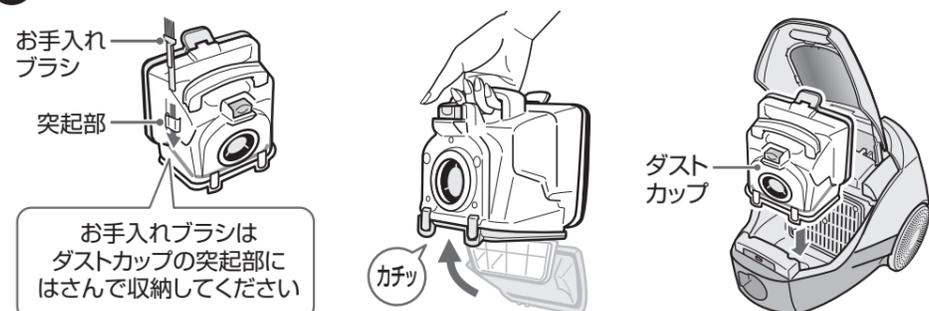
- ダストカップの底面が開き、中のゴミが捨てられます。
- ゴミを捨てる前にダストカップ側面を軽くたたくと、ゴミが落ちやすくなります。
- ネット面に付着しているゴミは、お手入れブラシで取り除いてください。



お願い

- ダストカップの底面は直接手で開けられません。ゴミを捨てるときは必ずゴミすてボタンを押してください。
- ダストカップの底面には無理な力を加えないでください。はずれることがあります。
- お手入れブラシを使ってダストカップ内をお手入れするときは、十分注意して下さい。（ガラスなど鋭利なゴミが入っていると、けがの原因）

3 ダストカップの底面を手で戻しカチッと音がするまではめ込み、本体にダストカップを取り付ける



お願い

- ふたで指をはさまないように注意してください。

お手入れする

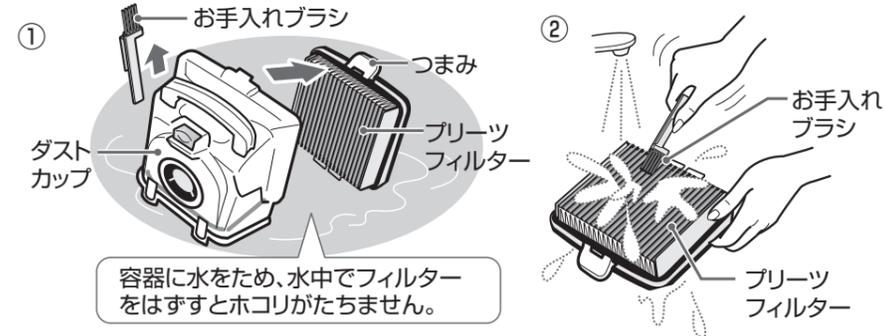
お手入れの際には **切** を押しして運転を止め電源プラグを抜いてください。

- 本体からダストカップを取り出し、ゴミを捨ててください。

ブリーツフィルター・ダストカップ …ゴミを捨てても吸い込みが弱いとき

1 ブリーツフィルターをはずし、水洗いする

- ①つまみをもち、ブリーツフィルターをはずす
- ②水洗いをする



容器に水をため、水中でフィルターをはずすとホコリがたちません。

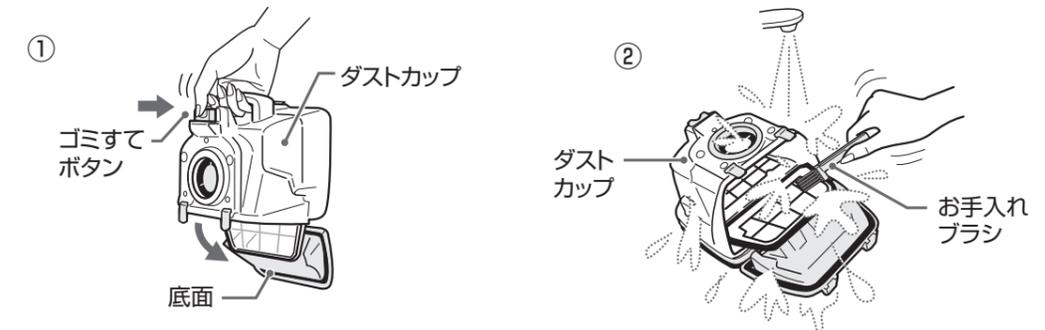
- ブリーツフィルターを広げながらお手入れブラシで洗ったり、容器に水をため、つけ置き洗いをするとうゴミが落ちやすくなります。

お願い

- ブリーツフィルターのお手入れには付属のお手入れブラシ以外のものを使わないでください。（破損の原因）
- ブリーツフィルターのお手入れが不十分なまま使い続けられないでください。（モーターの発煙・発火・故障の原因）

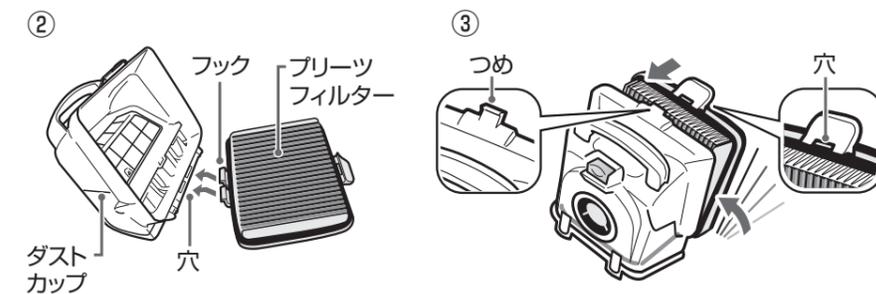
2 ダストカップ内を水洗いする

- ①ゴミすてボタンを押し、底面を開く
- ②ダストカップ内を水洗いする



3 十分な乾燥を確認して、ブリーツフィルターをセットする

- ①ダストカップの底面を手で戻し、はめ込む
- ②ブリーツフィルターのフックをダストカップの穴に引っかける
- ③ダストカップのつまみをブリーツフィルターのつまみの穴にはめ込み、ブリーツフィルターをセットする



お願い

- 各部品は十分に乾燥してから本体にセットしてください。（雑菌が繁殖し、排気のおい原因）お手入れをしてもにおいが取れないときは、においのついている部品の交換が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。
- ブリーツフィルターは必ず取り付けてください。（故障の原因）

お手入れする (つづき)

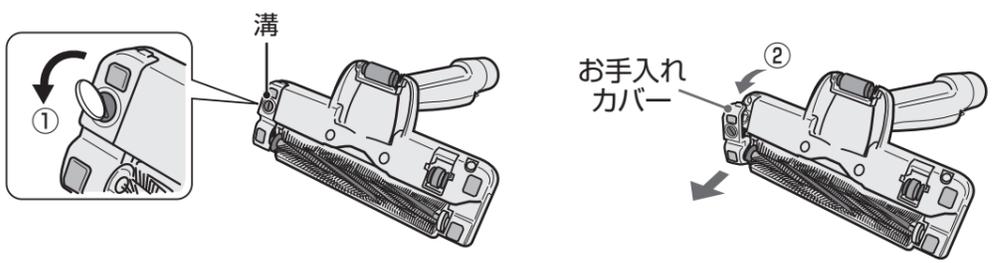
警告 本体・ホース・伸縮延長管・床ブラシ(回転部・お手入れカバーを除く)は絶対に水洗いしない
感電・故障の原因。

本体・付属品 …汚れが気になるとき
水または食器洗い用中性洗剤をふくませた布でふく

床ブラシ …週に1・2度点検を!
●お掃除の後に点検し、回転部や車輪にゴミがからんでいるとき、汚れが気になるときは、お手入れしてください。
回転部にゴミがからむと、回転部が回らなくなります。
●車輪にゴミがたまったまま使うと車輪が回らず、床・たたみを傷つけることがあります。

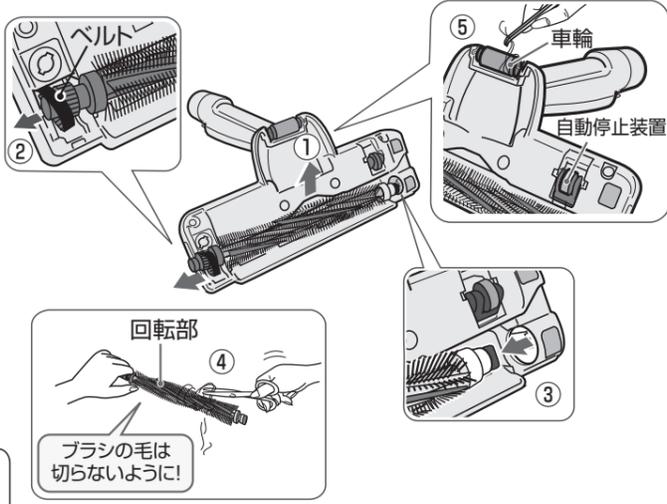
1 裏返してお手入れカバーをはずす

- ①溝にコインなどを入れ、「ひらく」の位置に合わせる
- ②お手入れカバーの後ろ側を持ち上げ、前方向に引き抜く



2 回転部をはずし、ゴミを取り除く

- ①回転部を持ち上げる
- ②ベルトをはずす
- ③矢印の方向へ抜く
- ④回転部からんだ糸くず・ペット毛などは、はさみで切り、取り除く
- ⑤車輪・自動停止装置のまわりからみついたゴミは、ピンセットで取り除く

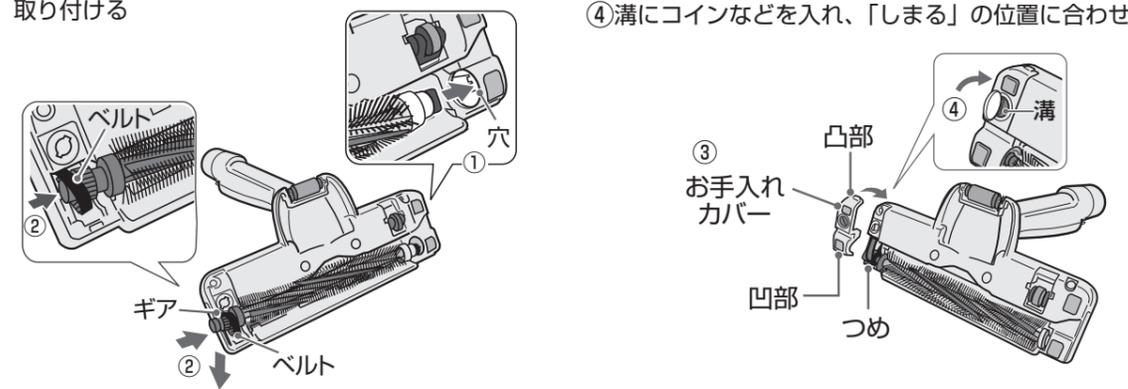


お願い
●床ブラシの風路内にゴミがたまっていると、ゴミすてサインが点滅する場合があります。使い古しの割りばしなどで取り除いてください。



3 回転部・お手入れカバーを水で洗い、十分乾いたことを確認し取り付ける

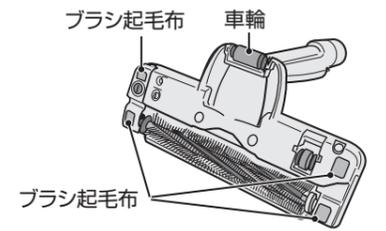
- ①回転部を穴に差し込む
●左右逆には差し込めません。
- ②ギアにベルトをかけ、回転部を取り付ける
- ③お手入れカバーの凹部をつめにかへ、凸部を矢印の方向に倒す
●取り付けるときは、無理に力を加えないでください。
- ④溝にコインなどを入れ、「しめる」の位置に合わせる



●ベルトは確実にギアにかけてください。かかっていないと回転部が回りません。

お願い
●回転部・お手入れカバー以外は水洗いしないでください。(故障の原因)
●回転部の軸受部には注油しないでください。(回転不良の原因)

●床ブラシ裏側の車輪・ブラシ起毛布の摩耗の点検を!
摩耗していると、床・たたみ・じゅうたんを傷つけることがあります。摩耗しているときは、床ブラシを使わないでください。



性能・品質を保つために、つぎのことは守ってください
●お手入れに、ベンジン・シンナー・アルコール・漂白剤などを使わないでください。また、洗濯機で洗わないでください。
(ヒビ割れ・変色・色落ちの原因)
●毛の固いブラシで洗わないでください(傷つきの原因)
●暖房器具・ドライヤーなどで乾かさないうでください。(ヒビ割れ、変形の原因)
●ぬれたままで使わないでください。乾燥時間の目安は日陰の風通しの良い場所で約1日(24時間)です。(故障の原因)

本体・床ブラシの回転部が止まったら

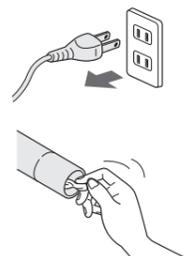
モーターの過熱を防ぐため、本体内部・床ブラシ内部には運転を止める保護装置がついています。次のようなときは、保護装置がはたらきます。お手入れをしてください。

本体の保護装置がはたらくとき

- ダストカップがゴミでいっぱいのまま運転し続けた
砂ゴミ、誤って吸い込んだ湿ったゴミなど、吸い込むゴミの種類によっては、ダストカップがいっぱいになる前に、保護装置がはたらくことがあります。
- ホース・伸縮延長管・床ブラシなどにゴミが詰まったまま運転し続けた
- すき間ノズル(ブラシ)を使い、運転し続けた
- 夏期など室温が35℃を超えるとき
- 吸入口や排気口をふさいで運転し続けた
- ゴミすてサインが点滅したまま使った

直しかた

- ①手元スイッチの(切)を押し、電源プラグをコンセントから抜く
- ②ゴミを捨てるか、またはホース・伸縮延長管・床ブラシなどに詰まったゴミや排気口などをふさいでいる物を取り除く
- ③涼しい場所におく



約1時間後、保護装置が解除され、再び使えます。

床ブラシの保護装置がはたらくとき

- 回転部(ブラシ)を回転させ、そのまま放置したり、床に強く押しつけた
- 回転部(ブラシ)に異物を巻き込んだ
- ホットカーペットや毛足の長いじゅうたんで使った

直しかた

- ①手元スイッチの(切)を押し、電源プラグをコンセントから抜く
- ②床ブラシに巻き込んだ異物を取り除く

約10分後、保護装置が解除され、再び使えます。

抗菌の効果

部品名	抗菌の確認を行った試験機関	試験方法	試験結果	抗菌の方法	抗菌の処理を行っている部品の名称
床ブラシ	(財)日本化学繊維検査協会	JIS L 1902	99%以上	繊維に付着	回転部のブラシ毛
ブリーツフィルター	(財)日本紡績検査協会	JIS L 1902	99%以上	繊維に付着	不織布
フラポノイドフィルター※	(財)日本食品分析センター	JIS Z 2801	99%以上	繊維に含浸	不織布

※その他の効果
 抗ウイルスについて：試験機関/（財）日本食品分析センター、試験方法/ウイルスに対する効力試験、試験結果/99%以上
 抗ダニ・スギ花粉について：試験機関/東京農工大学、試験方法/ウェスタンブロット法、試験結果/99%以上(ダニ)97%以上(スギ花粉)

仕様

電源	消費電力	外形寸法			質量	吸込仕事率	運転音	集じん容積	電源コードの長さ
		長さ	幅	高さ					
100V 50-60Hz 共用	1000W ～約160W	345 mm	254 mm	230 mm	5.5kg ホース・ 伸縮延長管・ 床ブラシ含む	600W～約50W	63dB ～約52dB	0.35L	5m

手元スイッチ「強」にて消費電力1000W、吸込仕事率600W、運転音63dB

この製品は、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
 This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

お困りのときは



警告



絶対に改造はしない また、修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない
 火災・感電・けがの原因。
 修理はお買い上げの販売店または、東芝生活家電ご相談センターにご相談を。

修理サービスを依頼する前に

- ご使用中に異常が生じたときは、電源プラグを抜き、約15秒後に再び差し込んで動作を確認してください。それでも異常が直らないときは、次の点をお調べください。

このようなときは	調べて、直してください	参照ページ
運転しない	●電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。	6
使用中に止まる	●ホースが本体に差し込まれていますか。 →ホースを一回抜いてカチッと音がするまで差し込み直してください。	5
	●ダストカップがゴミでいっぱいになったり、ホース・伸縮延長管にゴミが詰まっていますか。(本体の保護装置がはたらいています)	14
	●床ブラシにゴミが吸い付いていませんか。(本体の保護装置がはたらいています)	14
運転音が変わる	●ゴミすてサインが点滅したまま使うと、本体保護のため吸込力を弱めます。(異常ではありません)	7
吸込力が弱い	●ダストカップがゴミでいっぱいになっていませんか。	10
	●ダストカップ・ブリーツフィルターの汚れがひどくありませんか。	11
	●ホース・伸縮延長管・床ブラシにゴミが詰まっていますか。 →ホース・伸縮延長管・床ブラシをはずしてゴミを取り除いてください。	4,5
ゴミすてサインが点滅している	●ブリーツフィルターを付け忘れていませんか。	11
	●水などの液体が湿ったゴミを吸い込んでいませんか。	11～13
	●水洗い後、十分に乾燥されていますか。	11～13
床ブラシ回転部が回転しない	●自動停止装置が働いていませんか。 →床ブラシを一度持ち上げた後、ゆっくり下ろしてください。	8
	●ブラシ本体とお手入れカバーの間にすき間ができていませんか。	13
	●回転部のまわりに糸くずがたくさん巻き付いていませんか。	12
	●回転部のギアからベルトがはずれていませんか。	13
	●自動停止装置にゴミがからんでいませんか。	12
	●大きなゴミか、薄い敷物を巻き込んでいませんか。	12
電源コードが巻き取れない	●電源コードが片よって巻き取られていませんか。 →1～2m引き出して、再度巻き取ってください。	6
電源コードが引き出せない	●電源コードがからんでいませんか。 →ハンドル兼用電源コード巻取りボタンを押しながら、「巻き取る」「引き出す」動作を2～3回繰り返してください。	6
ホースが縮む	●床ブラシに大きなゴミが吸い付いていませんか。	12
	●ホース、伸縮延長管・床ブラシにゴミが詰まっていますか。	4,5
排気がおう	●湿ったゴミを吸い込んでいませんか。	11
	●ブリーツフィルターを水洗いした後、十分に乾燥しましたか。	11
	●ブリーツフィルターが目詰まりしたまま使っていませんか。	11

上の処置をしても異常のある場合は、16ページの保証とアフターサービスをご参照ください。
 ご自分での修理は絶対におやめください。(火災・感電・けがの原因)

- 次の場合は異常ではありません。
 - ・本体及び電源コード、排気風が熱く感じられる。(モーターの熱のため)
 - ・ゴミがたまってくると、モーターの回転数が増え音が大きくなる。
 - ・電源プラグを差し込むとき、火花が散ることがある。